



よしだつうしん

吉田通信

第106号
【2023年7月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆お墓を建てる施工連絡票と納期◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第106号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、私たちはお墓を建てる際、お客様やお寺のご住職様に施工日程の連絡票をお出しすることが会社のルールになっています。この連絡票は、いついつに基礎工事をします、いついつに建て込み工事をしますといったことが書かれているもので、これがあることでいつまでに何をしなければいけないのかが明確となり、納期を守れるようになります。

お墓を建てるということについて、吉運堂は納期を100%守る、何が何でも納期は守るという気持ちで長年取り組んできました。それが吉運堂の基本的な文化となっています。

この納期について、特に気をつけなければならないのが昔からある共同墓地でお墓を建てるケースです。区画が曖昧で向きもバラバラなことが多い傾向にあります。お墓を建てたり建て直すにあたり、お墓の持ち主と周りのお墓の持ち主とが集まって、「もうちょっとうちのお墓から離してほしい」だとか「もうちょっとこの通路を通りやすくしてほしい」だとか話し合いが行われ、最終的に場所が決定します。そのため、皆で集まる調整がなかなかつかないと、連絡票に記載の基礎工事に間に合わなくなってしまう可能性が出てきます。

もちろん、調整が進んでいない様子があれば、吉運堂の担当者からは「いついつに基礎工事です。大丈夫ですか？」と促し、間に合うようにしてきましたが、それだと人に依存しているところがあり、最終的な納期を守るという点で考えると、多少、リスクがあります。

そこで、新しく社内ルールを加えました。「連絡票に記載の基礎工事日の10日前までに場所

が決定していない場合は、お客様と納期を再設定する」ということを明文化しました。これがあることで、もし、諸事情によって場所がなかなか決定しなかったとしても、納期を改めて設定できるので、最終的な納期は守ることができます。

これからも、吉運堂は連絡票をお出しし、納期を守ることを徹底して参ります。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、毎年、この時期に書かせていただいておりますが、今年も私の大好きな枝豆のシーズンがやってきました。主食になるほど大好きな枝豆。「はつだるま」に始まり、最後の「肴豆(さかなまめ)」まで食べ尽くします。あまりの美味しさに、ついビールにも手が伸びてしまいがちですが、そこはビールではなく焼酎にして、痛風には気をつけたいと思っています。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前:吉田 竹史(よしだ たけし)
生年月日:昭和40年8月21日(O型)
出身地:新潟県白根市(現・新潟市南区)
経歴:都内の学校を卒業後、証券会社(水戸&ニューヨーク)の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味:上手くないゴルフ、強くない将棋
(NHKの将棋対局を見ることは好きです)
家族構成:妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史